

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2025年 6月 2日

長野県知事 様

住 所 岐阜県美濃加茂市加茂野町加茂野 2 番地 2 2

氏 名 株式会社Gプラント

代表取締役 磯村亮輔

〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第 1 項の規定により、下記のとおりに届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県下伊那郡高森町吉田 1 6 7 1 1 6 7 2
事業区域の位置及び面積		別添「位置図及び事業区域図」参照 7 0 4 . 0 m ²
太陽光発電施設の合計出力		49. 5kW (太陽電池の合計出力70. 2kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (オ フ サ イ ト PPA方式 に よ り 中部電力圏内 の 企業 に電力売電予定)
	設置工事着手予定日	2025年8月1日
	設置工事完了予定日	2025年12月1日
	運転開始予定日	2025年12月 1 日
	施設撤去予定日	2045年11月31日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造（強度）計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		無
備考		連絡先 株式会社Gプラント (電話番号) 0574-42-8334 (FAX番号) (電子メールアドレス) isoson44@gmail.com

注 1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第 1 位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第 1 位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第 9 条第 1 項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☐ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☒ その他 (低圧営農型のため無し)		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙 『高森町第1 工程表』 参照		
工事車両の運行計画	想定される台数 (延べ) 80 台 (4 台×20 日) 運行時間 平日 9 時～17 時 (予定) 経路 別紙 『高森町第1 工事車両運行経路』 参照		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	想定盛土量 0 m ³
	切土の有無	有 ・ ☒ 無	想定切土量 0 m ³
	事業区域外からの搬入量		0 m ³
	事業区域からの搬入量		0 m ³
排水処理設備の有無	有 ・ ☒ 無		
	排出経路	営農型発電施設のため全量自然浸透	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台ではなく、農地に囲まれた敷地であり耕作放棄地となっている。営農型発電施設の設計は農林水産省が定めるガイドラインに沿って計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	公共的な眺望点から視認できる場所には位置していないが、約400m離れた西田公民館北付近の道路からの 事業用地の方向を示した 図を作成した。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	農地に囲まれた場所に位置しており、主要な道路には隣接していないが、隣接道路から2m後退させました。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	パネル段数を4段以下に設計をして大きな角度になる事を避けました。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	営農型発電施設のガイドラインを参考に最低地上高を参考に冬季の冬の雪を加味して3m以下に設計をしました。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	主要な道路や公共の施設は周囲には無く角度を10度以下に設計をしました。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	地盤強度を考慮し、スクリュー杭基礎を採用予定。太陽電池モジュールの向きや傾斜は一定の規則性を持たせて配置した。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	周囲の山並みに影響が少なくなるようパネルの傾斜角度を10度以下とした。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	北側に道路はないため影響はありません。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		光の反射による眩しさを抑える仕様の製品を選択した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒色になります。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	アルミ製で低反射の架台を選定しました。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	彩度の無い銀色
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		営農型発電施設のためフェンスはありません。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないように、低減に努める。		必要最低限になります。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		配慮します。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		営農型発電施設の性質上果樹や観葉植物を定植する予定です。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		高森町役場農林課とお打ち合わせ済みです。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		接する道路への反射光の影響を考慮し、パネルの傾斜の角度を10度以下とした。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		20年間の維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		景観に関する住民説明会は実施済みです。

上記以外にも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 2025年 6月 12日

太陽光発電施設の設置場所	長野県下伊那郡高森町吉田1671 1672	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	株式会社Gプラント 代表取締役 磯村 亮輔 岐阜県美濃加茂市加茂野町加茂野2番地22 0574-42-8334	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	同上
合計出力	49.5kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	2045年11月31日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	自治会に向けて撤去のチラシを配布後意見が無い場合は、1ヵ月後に撤去予定。	
維持管理計画及び状況の公表方法	標識により公表	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

排水・設備のゆるみ・構内柱の基礎等を確認する。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

隣接地やその周辺において土砂崩れの兆候がないかの点検を実施する

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年 4 回	
			端子箱に破損、変形がないか		年 4 回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年 4 回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年 4 回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年 4 回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年 4 回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年 4 回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年 4 回	
			接続部に緩み、破損がない。		年 4 回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年 4 回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年 4 回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年 4 回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年 4 回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年 4 回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年 4 回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年 4 回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年 4 回	
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正		年 4 回	

			しく固定されている。		回	
漏電遮断器	☒	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年 4 回	
	☒	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年 4 回	
パワーコンディショナー	☒	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年 4 回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年 4 回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年 4 回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年 4 回	
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年 4 回	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 ○ 回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			

			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☐	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☐	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年 4 回		
	☐	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年 4 回		
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年 4 回		
			雨水等による洗掘がない。	年 4 回		

			草木の繁茂がない。		年 4 回	
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年 4 回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年 4 回	
			雨水等による洗掘がない。		年 4 回	
			草木の繁茂がない。		年 4 回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

選択中の情報

 災害種別で選択


洪水・内水
(想定最大浸水深)


土砂災害
(想定最大浸水深)


高潮
(想定最大浸水深)


津波
(想定最大浸水深)


道路防災情報

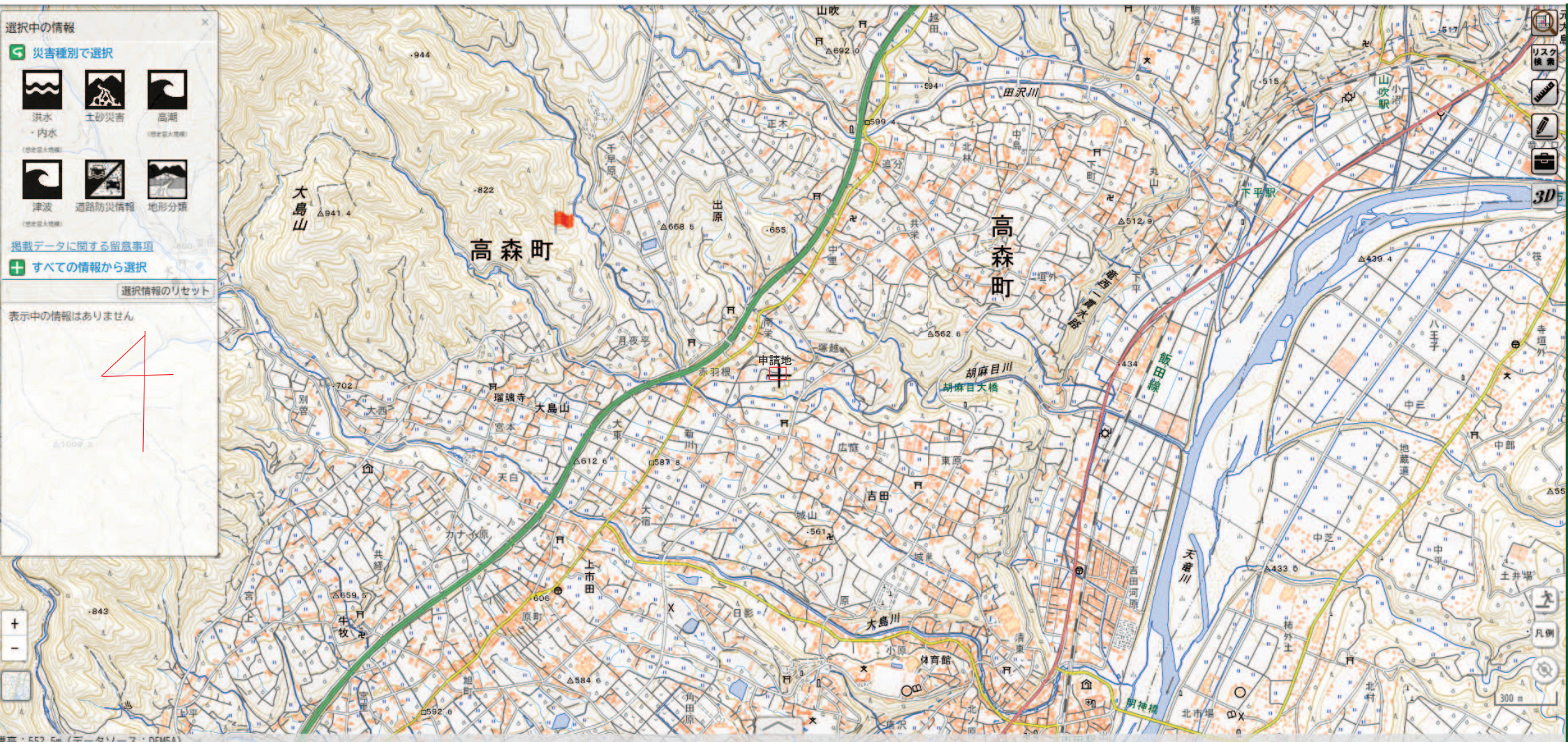
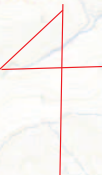

地形分類

掲載データに関する留意事項

 すべての情報から選択

選択情報のリセット

表示中の情報はありませ



標高: 552.5m (データソース: DEM5A)



Google マップの改善にご協力ください ×

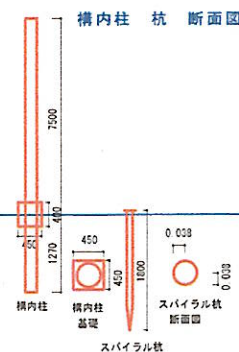
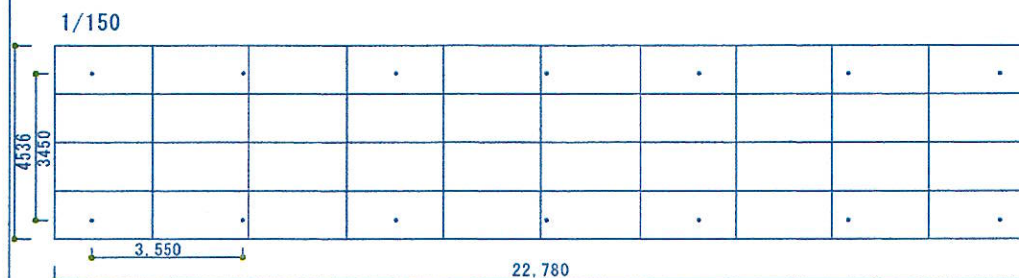
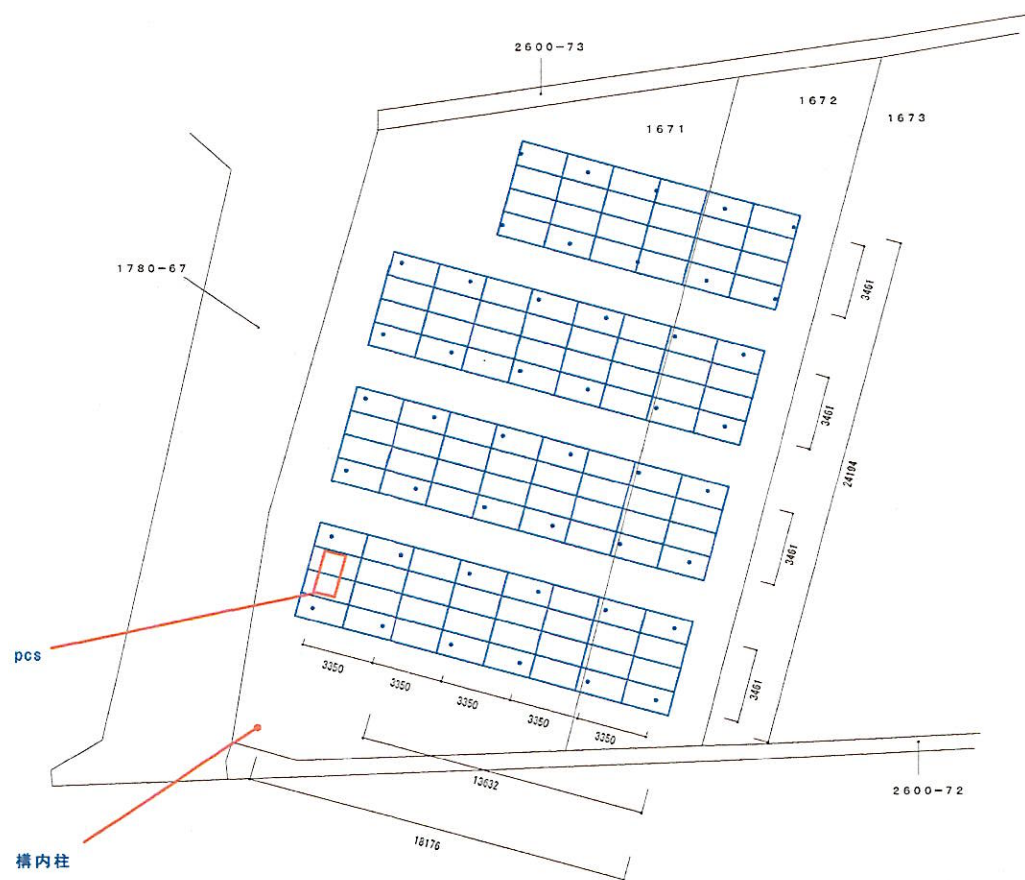
[利用しない](#) [質問が表示されます](#)

続行すると、Google がサービス向上を目的として、お客様の回答、[アカウント情報およびシステム情報をプライバシーポリシーと利用規約](#)に則って使うことに同意したものとみなされます。

4

雨水は全量地下浸透で処理をします。

配置図 詳細



モジュール型式	585w
セルタイプ	単結晶
重量	32kg/枚
寸法	2278×1134×35 (仮)
パネル 総枚数	120枚/70.2kw 2.278×1.134 = 2.58㎡/枚
PCS 容量	49.5kw
傾斜角度	5度
敷地合計面積	704㎡
パネル下部面積	120枚×2.58㎡=309.6㎡
パネルエリア面積 (緑枠線内)	439.6㎡
遮光率	$309.6\text{㎡} \div 439.6\text{㎡}$ = 70%
合計 スクリュー杭本数	$0.038\text{m} \times 0.038\text{m} \times \pi \times 46\text{本}$ = 0.20㎡
合計 構内柱本数	$0.45\text{m} \times 0.45\text{m} \times 1\text{本}$ = 0.2025㎡
合計 転用面積	$0.20\text{㎡} + 0.2025\text{㎡}$ = 0.40㎡
その他の営農面積	264.4㎡
申請営農作物	ハラン
定植本数	94本

営農型発電施設

長野県下伊那郡高森町吉田 1671 1672

株式会社 Rising

様

営農型発電施設 配置図

R6. 5. 7

A3 1/250

[illegible]



Google マップの改善にご協力ください

利用しない 質問が表示されます

続行すると、Google がサービス向上を目的として、お客様の回答、[アカウント情報およびシステム情報](#)を[プライバシーポリシー](#)と[利用規約](#)に則って使うことに同意したものとみなされます。



Google マップを検索する



あ

共有



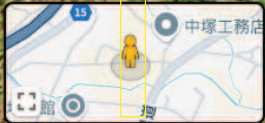
高森町, 長野県



Google ストリートビュー

2023年10月

他の日付を見る



Google



撮影日: 2023年10月 © 2025 Google 日本 利用規約 プライバシー 商標の報告





(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2025年 6月 2日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		株式会社Gプラント 代表取締役 磯村亮輔 岐阜県美濃加茂市加茂野町加茂野2番地22
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野県下伊那郡高森町吉田1671 1672 設備ID：オフサイトPPA方式により中部電力圏内の企業に電力売買予定
説明会開催についての周知の方法とその範囲		自治会へ説明会開催のお知らせを回覧板にて周知
説明会の概要	日時	2024年11月4日
	場所	長野県下伊那郡高森町出原3-3 第5会集会所
	参加者数	6人
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	代表取締役 磯村亮輔 耕作人 佐々木 春雄

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

- (添付資料) 1 説明会で配布した説明資料
- 2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

高森町吉田太陽光発電所近隣への説明

「太陽光発電所建設の為の審議のお願い」

吉田区、近隣の皆さん

コピー禁止

2024年10月17日

岐阜県加茂郡川辺町石神 401 番

株式会社Gプラント

代表取締役 磯村 亮輔

■■■■様、■■■■様土地に太陽光発電所を計画しました。概要を説明いたします。
地区、近隣の皆さんには十分検討いただき、ご理解頂きますようお願い致します。
この土地を賃貸借します。尚、今回はパネルの下で農業を行うシェアリングです。
農地転用が完了しております。長野県の条例に基づいて説明会を実施します。

1. 土地

農振地 高森町吉田 1671 番、1672 番 (704㎡) 地目田

2. 事業主（施工会社及び管理会社）

岐阜県加茂郡川辺町石神 401 番 株式会社Gプラント

電話 0574-42-8331 FAX0574-42-8339 代表取締役 磯村 亮輔

(長野支店：高森町下市田 2915-8 電話 0265-48-6564 FAX0265-48-6549)

3. 設計図面、その他の説明

- ・パネルメーカーは「SUNTECH」(サンテック)
- ・パワーコンディショナーメーカーは「Huawei」(ハウアウェイ)
- ・パネル最低高さ 2,500mm 最高高さ 3,000mm 約 5 度の傾斜角度
- ・土地の造成は行わず、他の地形を利用し浸透池とします。
- ・防草シートは張り、土手の草は仮払い機で刈ります。(一部農地用除草剤を使用)
- ・フェンスはなし。(農業を行うために必要ありません。)
- ・発電所規模 66kw 出力 (パネル枚数 120 枚)
- ・架台 基礎はスクリュー杭を使う。架台は既製品を使用します。

抜き力 1000kg/本 約 60 本使う。(耐荷重、風速 36m/Sec に耐えられる構造)

4. 施工期間

一時農地転用が完了後 2 か月程度、電力会社の接続事情により、期間を変更する事もあります。

5. 地域、市県へ提出書類（その他経済産業省、中部電力への申請が必要）

地区の審議と合わせて、以下の書類を提出する。

- | | |
|--------------------------|-------|
| ・「農地転用申請書」許可済み | 農業委員会 |
| ・「景観、土地利用計画区域内行為届出書」許可済み | 産業課 |
| ・「埋蔵文化財の調査の依頼」提出済 | 教育委員会 |

6. 発電事業を終了した場合の対応

- ・発電事業を終了した場合は構造物を撤去します。

7. 排水の計画

- ・太陽光発電における「排水施設確認の基準」を適用する。(高森町)
以下の基準(抜粋)を示す。

①流出係数 太陽光パネル下は 0.9 とする。

②降雨強度 5年確率 10分間 79mm を適用する。

③調整池等 5年確率 60分雨量強度 36.8mm/h を適用する。

＊上記条件で水路や土地から排水があふれないよう処置（調整池、水路改良）をする。
今回は田の畔を利用し全体を浸透池とします。

- ・土地の雨水は浸透池を設け浸透させる。
- ・土地の周りに盛り土をし、雨排水が外に出ないようにする。

8. 農業の説明

- ・岐阜県で実績のあるはハランを栽培します。

すでに弊社ではシェアリングで5Mw（この発電所の100倍）ほど建設しております。

9. 周りへの影響の説明

1) 雪対策

- ・特に必要ありません。

2) 太陽光パネルの反射光の影響

- ・周りに住宅があるが反射光が影響はないと思われます。
必要な場合は遮光板を設け影響がないようにします。
- ・真南、真北の住宅は反射光の影響は受けません。

3) 周辺の温度上昇の影響

- ・太陽光を付けると周辺の温度が上昇すると言われることがありますが、今まで影響が出たものはありません。

4) 周辺農業への影響（高森町では近隣の農業者と協定を結ぶよう義務付けられています。）

周囲に田や住宅がある。

- ・太陽光パネルから農業への影響はありません。
- ・近隣農地の消毒などの行為によるパネルへの影響はありません。
特別なことがない限り、損害賠償請求などの行為は行ないません。
- ・雑草による影響がないように、防草シートを張ります。
草刈りをし、管理します。又は農業用の除草剤で対処します。

5) 電氣的影響

- ・騒音 パワーコンディショナーの騒音がする。近づかないと聞こえない。
- ・電磁波 発生しますが規格値内。通常の電気製品と同じです。
- ・雷 落ちやすくなることはありません。
- ・安全装置 電力会社の基準に基づき設置し定期的に検査を実施します。

9. 今後の維持管理

- ・太陽光発電所は維持管理することを義務づけられており、農業と合わせ管理します。
（基本的に月1回以上、現地へ行って点検します。）

10. その他

- ・今後の太陽光発電はまだ沢山必要です。しかしパネルは海外の需要が高くなっています。
- ・企業は再生可能エネルギー使用が義務付けられ自治体もゼロカーボン推進を進めています。
- ・戦争の影響などでエネルギー価格は非常に高くなるし、EVは電気が必要になります。

添付図面 地図、公図の説明、太陽光施設設計図 合計3枚 以上

高森町吉田太陽光発電所の説明会

司会者（話者 1）

では今度は、常会内に太陽光発電所ができるということで、説明会ということで御苦労さまでございます。その、管理会社と施工会社の BIG コーポレーションの佐々木さん。G プラントの磯村さんです。それではよろしくお願いします。

説明者 1（話者 2） BIG コーポレーション 佐々木

それでは私の方で進めさせていただきます。まず、長野県の条例で、すみません、録音させていただきますので、よろしくお願いします。それなので、ご質問あるときはお名前を言っていて、名字だけでもいいですが、それから後、すみませんが、出席の名簿記入をしていただきたいと思います。

お名前と住所を吉田からでよろしいのでお願いしたいと思います。それでは、まず事業主の G プラントから会社の概要の説明をお願いします。

説明者 2（話者 3） 株式会社 G プラント 磯村

皆さん、今日はお寒い中ありがとうございます。株式会社プラントの磯村といいます。うちの、弊社の紹介なんですけれども、この資料の一番後ろの方にパンフレット、一応、載せてあります。

弊社は営農型発電所をメインとした農業法人になりまして、営農型発電所以外にもお米の生産とか、マコモダケの生産も行っています。

昨今、営農型発電所の方が安定した収入を得られるということと、企業様から再生可能エネルギーが欲しい上に農地を維持管理してやっていけるねということで、農地の耕作放棄地の解消も踏まえて。今後の再生可能エネルギーのビジネスモデルとして、自然の流れとしていいねということで。受け入れが結構多くなっているような形になります。

うちの会社につきましては、営農型発電所の実績でいきますと、10 年ぐらい前からやっています。メインが岐阜県、九州、長崎、熊本県ですね、合計の面積でいくと 10 ヘクタールほど今やっています。

今後の流れでいきますと、今、長野県でこの住民説明会を経て 1 発目の営農型発電所を建設予定なんですけれども、愛知県、三重県、岐阜県の中で、今、今後 5 年間で 30 ヘクタールぐらい営農型発電所を増やそうかなというところで、今、企業様と一緒に手をつなぎながらやっていこうというふうに計画しております。

営農型発電所、そもそも営農型発電所とは何ぞやというところなんですけれども、簡単に言いますと、農地の上で農業をしながら太陽光をするという二毛作のシステムとなります。メインがやはり農業をする、メインが農業になりますので、農業の収穫量、収入ですね。

それをちゃんと計画書を出して許可をいただけた事業者しかこういう農地の上で太陽光ができ

ない、そういう仕組みになっています。逆に言うと、収穫量が減ったりとか、管理をちゃんとしないとすると、県の方から撤去命令が来て、即時、太陽光発電所を撤去して農地に戻しなさいと。

そういう厳しい法律の中で、僕ら大体 10 年ぐらい実績を積みながらやっています。この営農型発電所のいいところというのは、言い方がいいか悪いかはちょっとわからないけれども、農業をちゃんとするというので、宅地にできないような、そういう農地でも営農型発電所ができる。

いわゆる一種農地とか農業振興地域内ですね、そういうところで営農型発電所がやれますよと。僕らからすると、今、宅地とか山とか太陽光発電所するよりも耕作の難しいところ、水がないとか、獣害があるところとか、そういうところでお声掛けして、きれいに農地として復活するんで、営農型発電所をやらせてもらえませんかというところからお声掛けをして、というところからスタートしています。

どういう作物をやるかというところでいきますと、営農型発電所の下の方はパネルの影が結構70%、80%落ちてきますので、下で作物を作ります。今回、長野県の方で高森町の方でやる営農型発電所、ハランですね、ハランという作物をやるんですけども、このパンフレットの表紙のこの作物になります。

これはもともと九州の方で栽培がメインでやられています。やられてるんですけども、うちの事業所の方で一緒に仲間がもともとハランの営農型発電所をやっていて、岐阜県にまず委嘱して、今、今度、三重県、愛知県、長野県の方でも増やしていこうというふうに、今どんどん広げていっています。

用途としては、主に葉っぱを作るので、冠婚葬祭の下端の葉っぱとかお寿司の寿司やお肉の下からで、今後はもうちょっと面積が増えてくると、株を分けてですね、大きくなっていくので、分けて何としても売っていこうという、そういうところで収入を得ていこうかなというふうに考えています。

ざっくりと、株式会社Gプラントのご紹介とさせていただきます。

説明者 1 (話者 2)

はい、それでは、1枚目に戻っていただいて。全部読む前に場所ですけれども、もう皆さんお分かりだと思いますが、中塚工務店さんの西側になるところです。

それから、次の公図のところを見ていただいて、今日、何人か近隣の皆さんも来ていらっしゃると思いますが、2筆ありまして、[REDACTED]の土地と[REDACTED]の土地、田んぼを利用します。

それでは1枚目に戻っていただいて、文章を読んで説明をしてみたいと思います。それでは、吉田、高森町吉田太陽光発電所近隣の皆さんへの説明ということで

それから〇〇様の土地に太陽光発電所を計画しました。概要を説明いたします。近隣の皆さんには十分検討いただき、ご理解いただきますようお願いいたします。この土地を賃借します。なお、今回はパネルの下で農業を行うシェアリングです。農地転用が完了しております。

長野県条例に基づいて、説明会を実施します。農地転用を吉田地区で審議いただきまして、完了

しております。土地。農振地と書いてありますが、農振地になってますが、ここは今回は農転だけで良いということになります。吉田の 1671 番、1672 番、合計面積は 704 m²です。

事業主、先ほど紹介しました G プラントです。

設計図面その他の説明ということで、パネルは SUNTECH (サンテック) です。パワーコンディショナは Huawei (ハウアウェイ) のものです。で、今回は下で営農型ということなので、最低高さが 2500、最高高さが 3000、約 5 度の傾斜をつけるということです。で、土地の造成を行わずに現状の地形を利用して全体を浸透池にします。

防草シートを張って土手草は仮払い機で刈ります。場合によっては農薬をする、除草剤使用する場合もあります。それからフェンスはありません。その代わり 2.5m 以上なので、人が手伸ばしても届きません。それから発電規模としまして、66kw の出力とパネル 120 枚ということになります。

それから、架台はスクリー杭というねじねじの、木ねじの大きいようなやつですね。それを使って架台を作って、基礎を作って、その上に既存の架台を乗つけるということになります。約 60 本使うということになります。風速 36m/Sec に耐えられる構造に構造計算をしてあります。

施工期間、一次転用完了 2 か月程度ということで、来年の 3 月頃までに完了したいというふうに思っております。

それから、地区、村や県への提出と、町や県への提出ということになります。農地転用、これは申請済み、それから定款、土地利用計画、区域内の行為の届け出、これも許可済みです。埋蔵文化財、これ提出済みです。そのほか関係する条例はありませんので、特に出してはありません。

それから、6 番、発電事業を終了した場合の対応ということで、上物を撤去して農地に戻すということになります。この期間というのはまだ決めていないですね。

説明者 2 (話者 3)

そうですね。基本的には太陽光発電所というのは、壊れたら交換しながら運営していくもので、売電は 20 年間の契約でまずスタートするんですけども、21 年後も恐らく再生可能エネルギーは必要だという話には多分なっているはずなので、引き続き売電事業を開始し、続けて、もし仮に撤去するよという話になったら、全部解体してきれいに農地に戻します。

説明者 1 (話者 2)

はい、じゃあ次、排水の計画ということで、高森町の排水施設の確認の基準というのがありまして、以下の内容を抜粋してあります。排出係数、太陽光パネルの下は 0.9。100 mm 雨が降ると 90 mm 外へ出てくるんですよという、0.9 かけていただければいいです。

それから、雨量強度、5 年確率で 10 分間 79 mm、ちょっとわかりにくいんですが、次のページを見ていただいて。

5 年確率で 60 分、雨量強度は 36.8 mm という、1 時間にどのくらい雨が降るかという、それを 5 年確率という、言われて計算してあります。そうすると県の基準が決まっております、36.8 mm という雨が降ったときにそれが流れ出して、田んぼの畔をこわったり、水路を詰まらせたりとか、な

いように排水計画を立てなさいというふうになっています。

それで、実際にはパネルの上に降った雨というのは、そのまま下へ落ちるので、ほとんど浸透してしまうんですが、0.9 流れ出すよという計算で、建物があると同じように計算をなささいというふうになっておりますので、その通りを計算してあります。

だから、実際には、今の田んぼと同じようにほとんど浸透してしまうのではないのでしょうかということです。今まで作った発電所も皆そのようにきちんとしております。

農業の説明。岐阜県で実践あるハランを栽培します。と言うことで、弊社はヒアリングで 5Mw この発電所の 100 倍ほどを建設しております。その後増えていくんですかね？

説明者 2（話者 3）

あ、そうですね。20Mw。

説明者 1（話者 2）

ああ、そうですか。それから、周りへの影響の説明ということで、雪対策は特にありません。それから、太陽光パネルの反射光の影響ということで、周りに住宅がある場合は影響があると思います。この場合はほとんど住宅がありませんので、影響はないと思われます。

必要な場合には遮光板等を設けて、影響が出ないようにします。それから、真南、真北の住宅は反射光の影響を受けることはほとんどありません。

3 番、周辺温度の上昇の影響ということで、太陽光を付けると周辺温度が上昇すると言われることがあります、今までに影響が出たものはありません。

4 番、周辺農業への影響ということで、高森町では近隣の農業者と協定を結ぶように義務付けられております。既にハンコを押していただいて、お返ししておりますので、協定書を。そこには一般住宅が近所にあっても SS やなんかで通っても文句は言いませんよというような内容が書かれておりますので、そういう協定を結び、させていただいております。

それから、周辺に田、田や住宅がある場合、太陽光パネルからの農業への影響はありません。

近隣農地の消毒などの行為によるパネルでもほとんど問題ありません。特別なことがない限り、賠償請求などの行為は行いません。

それから、雑草による影響が出ないように防草シートを張ります。草刈りをし、管理をします。また、農業用の除草剤で対処しますということです。

それから電氣的な影響で騒音です。パワーコンディショナーというのがついていて、発電した電気を交流に変えて電線に返していくんですが、ここは近づかないと音がわからないほど静かです。それから、電磁波は発生しますが、規格値内ということで、普通の電気製品と同じ規格です。

雷が落ちやすくなることはありません。安全装置、電力会社の基準に基づき設置し、定期的に検査を実施します。今後の維持管理、太陽光発電所は維持管理することを義務付けられており、農業と合わせて管理をします。基本的には月一回以上現地で点検、それから収穫時期、それ以外にも（モニターつける？）モニターをつける場合があるので、不安な場合にはそういう遠隔監視も可能とい

うことになります。

それから、その他で、今後の太陽光発電はまだたくさん必要です。しかし、パネルが海外の事情で値段が高くなっています。今は、一時的には下がっています。企業は再生可能エネルギー使用が義務付けられており、高森町の自治体でもゼロカーボン推進を進めております。

戦争の影響などでエネルギーの価格は非常に高くなっているし、EVは電気が必要となりますということで説明を終わります。

それから、ちょっと図面が小さいので申し訳ない、ちょっとこちらに大きな図面を用意しましたので、これを、見ていただいて。

正面、正面から見まして、南向きに1、2、3、4つの山をつくって作るということです。右側に側面図がありますが、最低が2500、最高が3000になっています。だから、こういう下を人が歩いて通れるような高さに作るということになります。

はい、以上で説明終わりますが、ご質問ある方、ご意見がある方はよろしくお願いいたしたいと思います。

質問者1（話者4）

Gプラントさん。〇〇の売り上げはどのぐらいですか。

説明者2（話者3）

〇〇の売り上げ■■■■■ぐらいですね。

説明者1（話者2）

お名前は？

質問者1（話者4）

■■■■■です。

説明者1（話者2）

■■■■■さん、はい。

質問者1（話者4）

あと、その。基本的なことで恐縮なんですけど。農業をされるのはどなたがされるんですか？

説明者 2（話者 3）

佐々木さんの方が地元になるので、ちょっと佐々木さんの方にお手伝いしてもらおうかなと思っています。

質問者 1（話者 4）

佐々木さんという方は、どういうお立場ですか？

説明者 1（話者 2）

すみません、私の方を紹介していなくて申し訳ないんですが、BIG コーポレーション、今、高森にセブンの北とか、何か太陽光発電所はありますよね。あの発電所を最初に作った会社なんです。

それで私ども事務所が下市田にありまして、で、一緒に事務所を南信支店で構えてるので、私の方が協力しながらやると。

質問者 1（話者 4）

G プラントさんと同じような太陽光発電の会社？

説明者 1（話者 2）

そう、そうです。

質問者 1（話者 4）

ちょっと会社名は？

説明者 1（話者 2）

株式会社 BIG コーポレーションです。名刺をすみません、ちょっとお返しして。必要なら名刺を。

説明者 2（話者 3）

営農型発電所の G プラントが発電所有者と。農業しますよというところから業務委託でお願いする。

質問者 2（話者 5）

なるほど、業務委託ということになっとるんですね。〇〇〇〇有名人です。

説明者 1（話者 2）

そんなことはないです。

説明者 2（話者 3）

農地を集める方面をお手伝いしてもらってるって感じです。今。

質問者 3（話者 6）

純粋に土地を借り、、、。

説明者 2（話者 3）

〇〇〇〇うちの方ではやるんですけども。

質問者 3（話者 6）

土地は借りるんですか？

説明者 1（話者 2）

〇〇〇〇の土地ですか？賃借です。

質問者 3（話者 6）

賃借。

説明者 1（話者 2）

はい。

質問者 4（話者 7）

雨水を、浸透式にするとか言っと思ったけど、それ以外に排水パイプが入っているけど。それは付けるんですか？

説明者 1（話者 2）

付けます。それで最初付けないように設計したんですが、町の土地利用の方で溢れる場合があるので、それを排水パイプを付けてくださいというふうに言われました。で、排水パイプを付けてあります。

質問者 4（話者 7）

溜まらないようにするわけですか？

説明者 1（話者 2）

いや、溜めます。

質問者 4（話者 7）

溜めるの。

説明者 1（話者 2）

溜める。

説明者 2（話者 3）

表現上溜めるとなるんですけど、オーバーフローしていた分が排水口に流れて行って、で、基本的には時間とともに、雨水は、農地は農地のままなので、沈んでいくという形です。

質問者 4（話者 7）

だから、地面よりも排水口の方が高いの？

説明者 1（話者 2）

高い、高いです。高いの。

質問者 2（話者 5）

いや、同じぐらいにしてほしいな。浸透式じゃあ、うちの方へ、、、。

説明者 1（話者 2）

果樹畑でしたっけ。横の。

説明者 2（話者 3）

別にこれをフラットにすることは特に問題ないですね。

説明者 1（話者 2）

ああ、そうです。全然問題ないです。はい。

質問者 2（話者 5）

そういう風にできれば。

説明者 1（話者 2）

はい。溜めないようにということね。多分、溜まるほど。田んぼじゃない、田んぼなんだけれども、耕してやるわけじゃないので、溜まるほど、雨が降ってもたまらないと思います。

質問者

〇〇〇〇浸透していく。

説明者 1（話者 2）

現状と同じです。

質問者 3（話者 6）

排水、排水口はどこへ流れていくんですか。

説明者 1（話者 2）

前出の。井水へ入ります。

説明者 1（話者 2）

その他はいかがでしょうか。

質問者 5（話者 8）

〇〇〇〇けれども、今の排水、流域沿いの方へ流すということ、今まで、井水の管理組合というのがあって、そのところへ少しでも流せば一応、入ってもらおうというような形があるんですけども〇〇〇〇。

説明者 1（話者 2）

そうですね、必要であればもう。ただ、■■■さんも■■■さんも対象の人たちですよ。この田んぼをやっているの。

質問者 5（話者 8）

他にも農地を持っているもので、ここだけが対象になるんか。ということです。

説明者 1（話者 2）

なので、お借りする以上はそういう管理も一緒にしなきゃいけないですよ。どのくらいの費用とかは必要なんですか？

質問者 5（話者 8）

今、今現在は一回につき■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ ■■■ 円で。

説明者 2（話者 3）

年間費用で？

説明者 1（話者 2）

年間、年間ね。

質問者 6（話者 9）

管理するに、掃除する時に 1 年、年一回あるんだけど、その、出不足。

説明者 2（話者 3）

わかりました。管理するのは毎年 4 月とかですかね。

質問者 6（話者 9）

5 月。

説明者 2（話者 3）

5 月。はい。

説明者 1（話者 2）

自分の前出のところは、そうは言っただって草刈るんで。じゃあそういう風にさせていただきます。

質問者 5（話者 8）

それと今のこの、ある程度のところで。左側にある道路。道路に畦畔があるんだけど、○○○○○○。わからないんだけど。

説明者 1（話者 2）

どこですか？

質問者 5（話者 8）

この線。

質問者 6（話者 9）

西側の。

説明者 1（話者 2）

それは、もう。道の際っていうか、畦畔までこちらの土地。

質問者 5（話者 8）

畦畔は道路畦畔。

説明者 1（話者 2）

道路畦畔。その下。普通、一般的にそうですよね。（そうですね）上までってことはないと思いますので。ただ、そこを草刈らないかっていうと、草は刈るようにしますので、はい。

質問者 7（話者 10）

すみません。■■■■と申します。ハランってちょっと聞いたんだけど。何なんですか？

説明者 2（話者 3）

なかなか聞きなれない作物だと思うんです。もともとは中国原産の植物で、大体 100 年、200 年ぐらい前の方に九州の方に渡ってきて、九州の長崎県で長崎県の、波佐見町で民間栽培の一つとして作られておったんですけれども、主に用途としてはビルの真下のガーデニングとか生け花、昔話でいうおにぎりの包まれてる笹の葉みたいなやつ、あれが実はハランなんです。

それを、こっちに移植して持ってくるんですけど、同じく葉っぱを作るか苗を作る。そういう用途でどんどんどんどんちょっと増やしていこうかなという感じで考えています。

質問者 5（話者 8）

こちら辺は、■■■■だけど、こちら辺、寒いですけど、冬は越します？

説明者 2（話者 3）

冬は大丈夫です。一応、氷点下-10 度までは問題なく育っていくのと、上の方に太陽光パネルがありますので、霜が降りない葉っぱの方には下りないし、雪も当たらないような形になります。

質問者 2（話者 5）

これ、実はなるんですか？

説明者 2（話者 3）

実はならないんですけど、花が咲くんですよ。

質問者 2（話者 5）

鳥が来て、これが結構、例えば桑の木があると実をとって、あちこちバラ舞いていっちゃうとか。そういうのは心配ないですね？

説明者 2（話者 3）

心配ですね。従来はほとんど心配ないです。ほとんどというか、ほぼないです。抗菌作用がある葉っぱなので、基本的には昔話のおにぎりが包まれとったように、菌が滅菌作用がある葉っぱなので、虫もつきづらいんで、実がならないんで、虫がつく可能性はありますけれども、ほとんど心配がない。

説明者 1（話者 2）

ぜひ、うまくいったらそこら中に作っていただいてと思います。（ざっくりそうですね）

説明者 2（話者 3）

最初は、2本、3本から出るんですけど、3年ぐらいすると10から20本ぐらいに増えて、4倍ぐらい大きさとかですね、これを4分の1ずつカットして植木鉢に植えると、大体ホームセンターで2,000円から2,500円ぐらいで、葉っぱで売ると1本30から60円ぐらいが市場の値段。

質問者 2（話者 5）

そんなおいしいもの○○。

説明者 2（話者 3）

そうなんですけど、手間がかかってしまってどれだけ残るかというところちょっと微妙かもしれない。

説明者 1（話者 2）

概ねご質問なければ終わりたいと思いますが。あとは雑談でもあればと思いますが、よろしい、よろしいでしょうかね。

司会者（話者 1）

いいですかね。それじゃあ。

説明者 1（話者 2）

どうも皆さんありがとうございました。これで説明会を終わります。また、何かありましたらいつでもお問い合わせくだされば答えますので、よろしくお願いします。

実際に工事をやるときには、また常会の方へお話ししてということになります。よろしくお願いします。

質問者 数人

よろしくお願いします。

説明者

ありがとうございました。

(29 分 39 秒)